

大阪都市計画局・令和8年度部局運営方針

大阪のまちづくりの羅針盤である「大阪のまちづくりグランドデザイン」に基づき、広域的な視点から大阪の成長や発展を支えるまちづくりを府市一体で推進します。令和8年度は、「副首都・大阪」の実現を見据え、万博のレガシーを最大限活かし、大阪の未来に向けた成長戦略「Beyond EXPO 2025」等を踏まえて、次のテーマについて重点的に取り組みます。

重点テーマ1：大阪のまちづくりグランドデザインの推進

まちづくりの主体的な役割を担う市町村と緊密に連携し、民間等の活力を最大限引き出しながら、多様な主体が一体となったまちづくりを推進。

〔主な取組〕

- 多様な主体によるまちづくりのコーディネート：ベイエリアの活性化、市街地リノベーションの促進、南河内まちづくりビジョンの策定、鉄道沿線まちづくりの推進
- 市町村等の自律的なまちづくりの支援：まちづくりワーキング、まちづくり指針等によるまちづくり情報の提供・技術的支援の実施
- 戦略的な情報発信によるまちづくりの機運醸成：まちづくりセミナー等のイベントや、まちづくりポータルサイト等の多様なツール・媒体を活用した情報発信

重点テーマ2：国際競争力を持った都心部の拠点形成

南北都市軸における拠点形成に加え、東西都市軸を強化し、官民連携のもと、世界で存在感を発揮する国際競争力を持った拠点エリアを形成。

〔主な取組〕

- 夢洲第2期区域：「万博の理念を継承し、国際観光拠点の形成を通じて未来社会を実現するまちづくり」に向け、開発事業者の募集、記念公園ゾーンの整備に向けた検討調査、夢洲アクセス鉄道（JR桜島線延伸）の事業化に向けた検討等を実施
- 大阪城東部地区：「多世代・多様な人が集い、交流する国際色あるまちの実現」に向け、1.5期開発の推進や大阪城公園接続デッキの整備を推進
- 新大阪駅周辺地域：「駅とまちが一体となった広域交通ターミナルのまちづくり」の実現に向け、積極的なプロモーションや、魅力の高い拠点形成に向けた検討を実施
- うめきた2期：「みどり」と「イノベーション」の融合拠点の実現に向け、基盤整備事業などを推進（R8年11月うめきたの森開園、R9年度全体まちびらき予定）

重点テーマ3：府内各地域における拠点形成・まちづくりの推進

都市ストックの更新に合わせた計画的な都市の再構築や、新たな産業用地の創出など多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリアを形成。

〔主な取組〕

- 良好な市街地や都市拠点の形成：市街地再開発事業等による駅周辺のまちづくりや、土地区画整理事業による幹線道路沿道の計画的なまちづくりを推進
- ニュータウンの再生：地区センターにおける中核的な拠点形成を図るとともに、新たな時代に即したニュータウンのまちづくりに向けた政策の方向性等の検討を実施
- りんくうタウンの活性化：まちびらきから30周年を迎えるりんくうタウンにおいて、官民連携によるまちのにぎわいづくりを促進
- 彩都東部地区：複合産業拠点の形成に向け、企業ニーズを踏まえた土地利用計画に基づく土地区画整理事業を促進（R8年度A、C区域 造成完了予定）
- 長田・荒本駅周辺のまちづくり：物流業界等を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、東大阪流通業務市街地の持続的な発展を見据えたあり方の調査検討を実施
- （再掲）南河内まちづくりビジョンの策定：南河内基礎自治機能充実強化協議会の取組と連携し、エリアの将来像となる「ビジョン」の策定に向けた調査検討を実施

重点テーマ4：広域連携によるまちづくり

海・川・山や多様な地域資源を活かしたにぎわいの創出を図り、定住人口・交流人口・関係人口の確保など、大阪の発展に資するまちづくりを推進。

〔主な取組〕

- 舟運の活性化と沿川のにぎわい創出：淀川舟運の活性化を図るとともに、沿川の地域資源を活用した魅力あるまちづくりを推進（淀川周遊サイクルディスカバリー等）
- サイクルルート沿線の魅力発信：サイクルルート沿線の魅力を発見する自転車を活用したまちづくりを推進（大和川サイクル月間、WAKAYAMA800等）
- 自然にふれあい、学び、体験できる場の創出：生駒山系の豊かなみどりや自然空間などを活用したまちづくりを推進（飯盛山歴史山歩、信貴山サイクルロゲイニング等）